

Book Review



歯界展望別冊

Single Crown Provisional Restorations

—天然歯形態の観察から始まる修復治療—
DVD ビデオ付

西川義昌・桑田正博 編著



Reviewer

大村祐進

(山口県・おおむら歯科医院)

A4 判変, 152 頁
定価 5,775 円
(本体 5,500 円+税 5%)
医歯薬出版刊



西川義昌先生・桑田正博先生編著による『Single Crown Provisional Restorations—天然歯形態の観察から始まる修復治療—』が発刊された。

日々の臨床において、修復物に与える歯冠形態は、われわれの頭を悩ませる問題である。なぜならば、歯冠形態は、支台歯の位置、植立方向、隣在歯および対合歯との関係、反対側同名歯の形態、術前の病態などにより制約を受け、症例ごとに個別の対応が求められるためである。臨床において機能的・審美的に満足できる歯冠形態を与えるためには、まず基本的な形態を熟知しておかなければならない。

桑田先生は、1960年代に歯科技工士として、金属焼付ポーセレンクラウンにおける構造力学的、生物学的、そして材料学的に保証されたシステムを構築するための研究開発に携わった人物である。その後、1970年代の後半には、「カントゥアガイドラインと軸面外形基準にもとづくスリープレーンコンセプト」「エマーゼンスプロファイル」「三角構造型論」などクラウン形態に関する考え方を発表された。

「修復治療とは、口腔のあるべき姿を知る努力をし、欠損部位にその“姿”を創生（再現）することである」、これは桑田先生の修復治療に対する考え方であるが、本書はプロビジョナルレストレーションを作製する際の基本となる概念に始まり、天然歯の観察、プロビジョナルの作製法、形態修正が、豊富な図と写真により丁寧に解説されており、まさにこのことが順序立てて簡潔に整理された1冊といえる。

本書はPart 1～Part 5で構成されている。Part 1では歯の形態の基本的な概念とともに歯-歯肉複合体として観察したときの修復治療上必要な概念について述べられ、カントゥアガイドライン、スリープレーンコンセプト、エマーゼンスプロファイル、サブジンジバルカントゥア、ティッシュリテンションなど、現代の修復治療において歯冠形態を再現するためには、ぜひとも理解しておかなければならない用語がわかりやすく説明されている。

Part 2では、写真と桑田先生自身のイラストにより天然歯が子細に観察されており、見るだけで各歯の特徴が理

解しやすい構成となっている。Part 3ではプロビジョナルレストレーションの作製法が写真で解説され、それに続くPart 4ではリカントゥアリングを含めた形態修正の方法、注意しなければならない点について言及されている。特に、プロビジョナルレストレーションを調整する際の勘所や実際の手の動きを、付随するDVD動画で学べることは、読者にとって非常に有意義でうれしいことである。そして、Part 5ではプロビジョナルレストレーションの症例がプレゼンテーションされ、実際の臨床が具体的に示されている。

このように臨床におけるプロビジョナルレストレーションの意味を、臨床経験の浅い若い歯科医師・歯科技工士にとっては非常に理解しやすく、またベテランにおいてもさらに理解を深めることができる内容となっている。

西川先生は巻末で、「ベーシックな治療に関しての十分に熟達したテクニックが、何よりもまず重要である」と述べられている。「千里の道も一歩から」、まずSingle Crownの処置を確実にできるようになりたいものである。